

特 集

新装置紹介①

マンモグラフィ装置

患者にやさしい撮影を

◆はじめに

今年の三月に新しく、マンモグラフィ装置が導入されました。十数年ぶりに更新された装置は患者に寄り添った機能がいろいろ搭載されています。新たに加わった機能を中心に紹介していきますと思います。

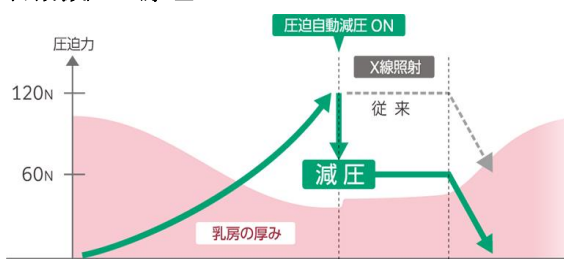
◆特徴

今回新たに加わった機能として、トモシンセシスの撮影が可能となりました。連続的に低線量でX線照射し、複数の位置から撮影した画像を再構成することにより、乳腺の重なりで発見しにくかった病変が観察し易くなりました。人間ドックでも撮影が可能となっています。

もう一つ新しい機能として、乳房圧迫時の痛みを軽減するために、通常のマンモグラフィの圧迫後、乳房の厚みが変化しない範囲（ $+1-3\text{mm}$ ）で圧迫を低減することが出来ます。

その他にも、痛みの緩和が期待されるデザインとなっており、検査時のストレスが低減出来る工夫がされています。

自動減圧の原理



【Comfort Comp】

【乳房撮影装置】



【トモシンセシス】



最後に、検診マンモグラフィ認定資格についてお話ししたいと思います。私たち診療放射線技師は、質の高い医療を提供するため、日本乳がん検診精度管理中央機構が行っている、マンモグラフィの撮影認定を取得しています。

この資格は、装置の精度管理や乳がんの知識、実際の画像のチェック、読影などがあり、5年ごとに更新を行うことで技術・知識の向上に努めています。装置に対しても施設認定の制度があり、今後、新装置でも取得を目指しています。

今回、新しく導入された新装置についてご紹介させて頂きましたが、マンモグラフィ検査についても疑問や不安があればお気軽にご相談下さい。

